

オンライン開催 2020年公開研究会のご案内

学校はコロナ禍とどう向き合っているか 現場からの報告

期 日： 7月25日(土) 13:00~16:00(予定)

開催方法： Zoomによるオンライン研究会

助言者： 宮本みち子 さん

参加費： 無料 定員25人

主催 (一財) 神奈川県高等学校教育会館教育研究所

本年3月11日、神奈川県教育委員会は「新型コロナウイルス感染症拡大のための一斉休業実施に関わる取り扱いについて」を各学校に通知し、一斉臨時休業が5月31日まで続きました。感染拡大も落ち着いたとの判断から6月1日より分散登校が開始となりました。通知は、クラウドサービス(G Suite for Education)、民間事業者のサービスの活用を通して生徒の学習保障をすることとしています。教育の情報化、市場化へのスピードがさらに速くなったとも言えるでしょう。また、こういった対応は文部科学省の「GIGA スクール構想」の広がりにつながり、コロナ前の学校に戻ることは難しいかもしれません。教育の公共性という視点も重要になってきています。

しかし、コロナ禍の中で、生徒・児童、保護者、教職員には実際はどのような状況が続いているのでしょうか。今年度の公開研究会は、現場からの報告を中心として、学校の置かれた「今」を記録し、今後の学校のあり方についての検討に資するものとしたと考え、開催いたします。

宮本みち子 さん

千葉大学・放送大学名誉教授。社会学博士。若者の成人期への移行に関する国際比較研究、生活困窮者・貧困問題、人口減少社会研究など、現代社会の諸問題に関心をもち研究に従事。最近では新型コロナウイルス禍で何が起こり社会がどう動いているのかを注視している。社会保障審議会委員、中央教育審議会委員、内閣府子どもの貧困対策検討会座長等を歴任。著書は、『若者が無縁化する』(筑摩書房)『すべての若者が生きられる未来を』(岩波書店)『下層化する女性たち』(勁草書房)『人口減少社会の構想』(旬報社)ほか。

参加を希望される方は、教育研究所までメールにてご連絡下さい。なお、メールの件名は「公開研究会参加希望」、本文に、「①氏名」「②所属」「③連絡先」をご記入ください。下のQRコードからも申し込めます。公開研究会当日までに、いただいたメール宛てにZoomへの参加URLなどをお送りいたします。なお、参加者ごとにメールをお送り下さいますようお願いいたします。また、お問い合わせは教育研究所までお願いいたします。

申しわけありませんが、参加者が定員を超えた場合は参加をお断りすることがあります。その場合は、こちらよりご連絡いたします。



(一財) 神奈川県高等学校教育会館教育研究所

〒220-8566 横浜市西区藤棚町 2-197

TEL : 045-231-2546

ゼロイチゼロロク

e-mail : GAE02106@nifty.ne.jp

メールアドレスは半角でご入力ください